

46年の活動に幕 天空のカフェの11月と秋の長野山を歩く

すでに令和8年も1か月が過ぎましたね。今年も、まちづくり応援団えーるをよろしくお願いたします。

さて、本年初の「えーる!」では、長野山ロッジ内にある天空のカフェを紹介いたします。

1979(昭和54)年に長野山緑地公園が整備された当時から、長野山を訪れる方々をおもてなししてこられた長野山生改連が、令和7年をもって46年にわたる管理運営を終了されることになりました。

例年、運営は10月末までのところ、令和7年は11月末まで営業を延長。多くの方々が、別れを惜しむかのように続々と長野山に足を運ばれていました。

食事に訪れた11月下旬。標高1000メートルを超える長野山の山頂近くにある長野山ロッジに到着し、車を降りると日差しは暖かいものの、冬も近い高地に吹く風は

身震いするほど冷たく感じられました。カフェはテーブルも満席で、順番待ちが出るほどのにぎわい。順番の予約を待っている、自分たちの後からも次々と人がやって来ます。

席に座り、注文したのは、うどん定食です。甘い汁ととうがらしの辛味が絶妙に混じり合い、思わず汁まで飲み干してしまいました。定食なのでご飯や付け合わせも付いていますが、サラダや煮物といった体に優しい内容で、ほっとするような食事でしたよ。



長野山の紅葉と青い空



天空のカフェでの食事を終え、11月の長野山を散策してみることになりました。すでに紅葉した葉が散り始めている山を、山頂に向けて歩いていきます。長野山といえはササユリの自生地があることでも有名ですが、秋の紅葉もなかなかすてきです。

山頂付近には展望台があり、らせん階段を登っていくと、はるか遠くまで見渡すことができます。青い空に溶け込んでいくように山々がうつすらと消えていく様子は必見です。さえぎるもののない高山ならではの絶景を見ることができました。天候にも恵まれ、秋の長野山を堪能することができました。



自分が物心ついた頃から、いまの形で運営されてきた長野山。こどもの頃、友人の家族に連れてきてもらったり、取材で山開きに訪れたり、家族と花を見に来たり…数々の思い出がある場所でもあります。

今後、長野山がどのように運営されていくのかはわかりませんが、澄んだ空気や高山に咲く花など、たくさん魅力が詰まったこの山が、これからもあり続けるように願っています。

「見よはつらつと建設の 希望明るく長野山」と、鹿野町歌にもうたわれていた長野山。これからも愛される場所であることを願って、心からエールを送ります！

